

# プレスリリース

2017年11月21日

## AUTOSAR、新たに議長と副議長を任命

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) 開発パートナーシップは西川賢司氏を新議長に、Stefan Rathgeber (ステファン・ラートゲーバー) 氏を新副議長として任命、そして Dr. Thomas Scharnhorst (Dr.トーマス・シャルンホルスト) をスポークスパーソンとして正式に発表しました。2017年10月から2018年6月までの任期となります。

西川賢司氏は、AUTOSAR 運営委員会の活動的なメンバーであり、トヨタ自動車株式会社で E/E アーキテクチャおよび車載ネットワーク開発室長を務めています。ダイムラーAG、メルセデス・ベンツ・カーズ・デベロップメントのネットワーク、機能およびコミュニケーションアーキテクチャ部門事業部長である Lorenz Slansky (ローレンツ・スランスキー) 氏の後任を務めます。このポジションは、9 か月の任期中に、管理、財務、内部調整、そして AUTOSAR 事業開発の責任を担います。

「まず最初に、ローレンツ・スランスキー氏には在職期間中に御尽力をいただき、心より感謝申し上げます」と西川賢司氏は述べています。「AUTOSAR は世界的基準として幅広く受け入れられておりますが、ここで満足してはいけなと考えます。私たちは、基準の安定を重視しつつ、引き続き品質と機能の向上に努めてまいります」

西川氏は 1990 年にトヨタに入社後シャシー制御システムのソフトウェア開発に携わり、それ以来、ソフトウェア制御システムの設計と開発を担当しています。これまでのキャリアにおいて、ブリュッセルに拠点を置くトヨタモーターヨーロッパでの赴任経験があり、そこで彼の異文化理解のスキルは培われました。

新副議長であるステファン・ラートゲーバー氏は、コンピューターサイエンスの電気技術者で、コンチネンタル・オートモーティブ株式会社のソフトウェア、企業システムおよびテクノロジー部門の部長を務めています。彼は 2016 年以前に、AUTOSAR のスポークスパーソンを務めたことがあります。

「AUTOSAR で別の主要な代表ポジションに就くことになり、非常にうれしく思っております」と、ステファン・ラートゲーバー氏は述べました。「AUTOSAR 開発プラットフォームを戦略的にさらに発展させ、実現していく過程に携わり尽力することには、大きな価値があります。私たちは引き続き、ソフトウェア基準の向上に努めます。私はこの活動に携われることを非常に誇りに思っております。」

1995 年にハノーバー大学電子工学およびコンピューターサイエンス学部を卒業したステファン・ラートゲーバー氏は、ソフトウェア開発分野において 22 年以上の経験があります。2000 年から 2009 年にかけて、ハーマンベッカー・オートモーティブシステム株式会社で 2 つのポジションに就き、ソフトウェア開発オートモーティブ・インフォテイメントシステム部の部長を最終的に務めました。2011 年にコンチネンタルオートモーティブ株式会社に入社し、インストルメンテーションおよびドライバーHMI 事業部門の R&D ソフトウェア部長に就任。2015 年以来、企業システムおよびテクノロジー部門でソフトウェア部長として活躍しています。

トーマス・シャルンホルスト氏がスポークスパーソンとして正式に発表され、彼は 2017 年の 1 月以来、引き続いての就任となります。広く尊敬を集めている業界のインサイダー、またフォルクスワーゲン AG の E/E アーキテクチャおよびコンセプト部門の元ディレクターである彼は、会議、全てのメディア対応、インタビューおよびその他の広報において、AUTOSAR を引き続き代表することになります。

「10 年間離れておりましたが、2017 年 1 月に再び AUTOSAR のスポークスパーソンを務める機会を頂きました」トーマス・シャルンホルスト氏は続けます。「AUTOSAR のこれまでの発展、歴史、そして 2003 年の創立以来、開発パートナーシップが成し遂げてきたものに、大きな感銘を受けております。私はスポークスパーソンとして、AUTOSAR のサクセスストーリーを引き続き支えていく所存であり、近々発表される Adaptive Platform の新しいリリースを楽しみにしています」

シャルンホルスト氏はベルリン工科大学で物理工学を専攻、その後、ケンブリッジにある MIT で宇宙航空学の修士課程を修了しています。1980 年に、フォルクスワーゲンの R&D 部門に入社し、E/E アーキテクチャおよびコンセプト部門のディレクター等、数々の異なったポジションを担当。フォルクスワーゲン在職中の 2004 年に AUTOSAR のスポークスパーソンに任命されました。その後、シャルンホルスト氏はフォルクスワーゲン AG の子会社で、車両ソフトウェアおよびエレクトロニクス開発に力を入れている Carmeq 株式会社の CEO に就任。現在は、WiTech-Engineering の共同経営者として従事しながら、シャルンホルスト氏は自動車エレクトロニクス分野において機能安全に関するセミナーを行っています。

#### **AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture)について**

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤー、そしてエレクトロニクス、半導体、ソフトウェア業界からのその他の企業による世界的規模の開発パートナーシップです。2003 年以來、自動車業界の為のオープンで、標準化されたソフトウェアアーキテクチャの開発と導入に従事しています。ソフトウェアとハードウェアの取り換えおよびアップグレードオプションを簡素化することで、AUTOSAR のアプローチは、自動車の電気および電子システムのますます深まる複雑さを確実にコントロールする為の基盤となっています。さらには、AUTOSAR は品質に妥協することなく、費用効果を向上させます。AUTOSAR の「コアパートナー」には、BMW グループ、ボッシュ、コンチネンタル、ダイムラーAG、フォード、ジェネラルモーターズ、PSA グループ、トヨタ、そしてフォルクスワーゲンが名を連ねています。これらの企業に加え、170 以上のパートナーが、パートナーシップの成功において重要な役割を担っています。AUTOSAR 開発パートナーシップに参加する企業は、仕様書を無料で使用することができます。

**さらに詳しい情報：**

**ウェブ：** [www.autosar.org](http://www.autosar.org)

**E メール：** [press@autosar.org](mailto:press@autosar.org)